

財務 R4 機能アップと電帳法対応 2 次版 (Ver.22.20) のリリース

財務 R4 の機能アップと消費税申告書の新様式対応および、電子帳簿保存法対応 2 次版となる Ver.22.20 のリリース予定について下記にまとめましたので、ご確認ください。

なお、当内容は変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

1. 発行プログラムと対象バージョン

システム名	リリースバージョン	データ変換対象バージョン	データ互換対象プログラム	保守加入対象
IKX財務会計 R4 財務顧問 R4 Professional 財務顧問 R4 Basic 財務応援 R4 Premium (*1) 財務応援 R4 Lite+ (*1) 財務応援 R4 Lite (*1) 財務応援 R4 Lite for IKX (*1) Weplat 財務応援 R4 工事台帳 (*1) Weplat製品も対象です	22.20	20.1以降	20.20以降	22.1以降

※Ver.22.20へのバージョンアップ後にライセンス認証が必要です。

Weplat製品については、保守契約期間内の場合はバージョンアップ後のライセンス認証は不要です。(自動認証されます。)

※会社データ選択時のデータ変換について

財務R4 Ver.21.10以降のプログラムで会社データを選択済みの場合は、Ver.22.20ではデータ変換処理は実行されません。

※Weplat 財務応援R4のCD版をご利用のお客様も、会計マイページからプログラムがダウンロードできます。

本リリースと同時に、「スマレジ連携 (Excelマクロ形式)」の障害対応版 Ver. 1.12をマイページにおいてダウンロード公開します。

対応する障害については、「7. 障害対応について」をご覧ください。

プログラム名	リリースバージョン
スマレジ連携 (Excelマクロ形式)	1.12

※スマレジは、株式会社スマレジの登録商標です。

※マイページで公開対象となる財務R4システムは、財務顧問 R4 Basic以外のシステムです。

2. リリース時期と提供方法

■E i ボードダウンロードマネージャー／エプソン会計マイページの公開

2022年8月24日（水）

■CD オプション契約ご加入のお客様向けの CD 送付

2022年9月5日（月）

3. 機能アップ対応について

3-1. 付箋にメモ入力機能を追加

仕訳入力等で付箋にメモが入力できる機能を追加します。

■付箋の種類を選択に「メモ入力」を追加します。

【対象画面】

仕訳入力、振替伝票入力、入金伝票入力、出金伝票入力、現金出納帳、銀行帳、帳簿選択入力、仕訳検索・仕訳変換、個別元帳 ※取込仕訳チェックは対象外

◆付箋のメモ入力手順（仕訳入力画面）

◆便利なキー操作

- や付箋アイコンで[Alt]キーを押しながら左クリックすると、「メモ入力」が表示されます。
- [+]キーを押すことで、付箋種類(1~10)の順番が変わります。

付箋欄にメモ入力がある付箋のアイコンは黒枠付きになります。

←ここでマウスを右クリックすると付箋の種類之窗が表示されます。

←ここでマウスを左クリックすると、行付箋を付けたり削除したりできます。初回は赤の行付箋、2回目以降は前回使用した行付箋になります。

付箋の種類(1~10)を選択

「メモ入力」を選択
※ 2で付箋の種類を選択せずにメモ入力した場合は「1.赤」の伝票付箋が選択されます。

メモ (Enter)または[F10]確定、[Esc]キャンセル

付箋メモへの入力は全角半角に関わらず最大50文字の入力が可能

付箋種類の変更（伝票付箋⇔行付箋）や付箋をなしにすると、以下のメッセージが表示され「はい」を選択するとメモ入力の内容が削除されます。

付箋の色の変更(1.赤⇔2.青など)をした場合は、メモ入力の内容は削除されません。

■仕訳チェックリスト等への付箋は以下のように表示（出力）されます。

- ・メモ入力が「なし」の場合は、半角カタカナ+数字（従来通り）
- ・メモ入力が「あり」の場合は、大文字アルファベット+数字

【対象帳票】仕訳チェックリスト（A4）／（A3）、伝票チェックリスト（A4）／（A3）、詳細データチェックリスト、仕訳検索チェックリスト

▼仕訳チェックリスト (A4)

仕訳チェックリスト					
101	財務22.20				決算期間：自 令和 4年 1月 出力範囲： 令和 4年 1月
仕訳No.	付日付	伝票No.	摘要	借方	消税 貸方
1 F1	4.1.1	1		100現金	810商品売上高増上
		※ 伝票番号 合計 ※		*****100,000	*****100,000
2 F2		2		580旅費交通費 仕込10	100現金
		※ 伝票番号 合計 ※		*****1,230	*****1,230
3 D3		3		481商品仕入高 仕込10	114普通預金
		※ 伝票番号 合計 ※		*****2,000	*****2,000
		※ 1月1日 合計 ※		*****109,230	*****109,230
4	4.1.2	4		100現金	810商品売上高増上
		※ 伝票番号 合計 ※		*****50,000	*****50,000
		※ 1月3日 合計 ※		*****50,000	*****50,000
5 F4	4.1.10	5		114普通預金	131売掛金
		※ 伝票番号 合計 ※		*****200,000	*****200,000
6 F5		6		100現金	
7 F5		6			810商品売上高増上
		※ 伝票番号 合計 ※		*****30,000	*****30,000
		※ 1月10日 合計 ※		*****230,000	*****230,000
8 F2	4.1.11	7		580旅費交通費 仕込10	100現金
		※ 伝票番号 合計 ※		*****2,000	*****2,000

▼付箋種類の表示一覧

付箋種類	メモなし		メモあり	
	画面	帳票	画面	帳票
伝票付箋 1		F1		D1
伝票付箋 2		F2		D2
伝票付箋 3		F3		D3
伝票付箋 4		F4		D4
伝票付箋 5		F5		D5
行付箋 1		F1		F1
行付箋 2		F2		F2
行付箋 3		F3		F3
行付箋 4		F4		F4
行付箋 5		F5		F5

- 仕訳検索の検索条件設定で、付箋にメモ入力がある仕訳を検索する機能を追加します。
仕訳検索の「検索条件」－「詳細タブ」の付箋種類に「メモ入力」の選択を追加します。

▼仕訳検索

社訳検索

検索実行(F10) キャンセル(Exc) 全解除(F7) 条件保存(F2) 条件読み込(F3) AND/OR(F4) 検索叫出(F6)

検索条件 AND

基本(F5) **詳細(F6)**

付箋種類: 1 2 3 4 5
 6 7 8 9 10

付箋なし **メモ入力**

伝票種類: 通常 売行 原仕票 取消
 入力形式: 仕訳 入金 出金 振替 帳簿

作成方法: 手入力 自動作成 残高合併 伝票合併

◆「付箋種類」で、「メモ入力」だけにチェックが付いている場合は、メモ入力がある仕訳がすべて検索表示されます。

◆「付箋種類」で、「メモ入力」と他の付箋種類にチェックが付いている場合は、チェックを付けた付箋種類の仕訳の中でメモ入力がある仕訳が検索表示されます。

【制限事項】

- ◆仕訳検索後の[F5 一括付箋]で一括設定または一括解除を行うと、付箋メモの内容も削除されます。
- ◆仕訳訂正モード時に[F8検索設定]－[F5 付箋取消]で付箋を取消す場合は、付箋メモの内容も削除されます。(IKXのみ)
- ◆繰越処理時の、付箋メモ入力内容
 - ・付箋コピーでは、翌期にコピーされません。
 - ・翌期3か月に入力された付箋メモは、繰越後の仕訳にコピーされます。
- ◆合併（伝票）処理時は、合併元の付箋メモを合併先の仕訳にコピーされます。
- ◆仕訳送受信を行う会社データでは、付箋のメモ入力（入力、表示）機能は使用できません。

《注意！》

「付箋メモ」を入力した場合は、必ず財務R4 Ver.22.20以降のバージョンで会社データを扱ってください。
 Ver.22.10以前のバージョンで会社データを操作すると、「付箋メモ」に入力した内容がクリアされる場合がありますのでご注意ください。
 データ共有、会社送受信、バックアップ・リストアによるデータの受け渡し等を行っている場合は、相手側も財務R4 Ver.22.20以降を利用してください。

3-2. 入力済仕訳データ項目一括変換機能の追加

入力済み仕訳の一括変換は、従来、仕訳検索で検索した仕訳を1項目ごと一括変換しますが、新たに複数の項目を一括して変換できる機能を追加します。

保守タブに「入力済仕訳データ項目変換」メニューを追加します。

間違えて入力した仕訳がたくさんある場合は、この機能を利用すると便利です。

▼保守タブ (IKXモードの画面)

業務メニュー

00.データ選択 01.基本メニュー 02.入力 03.帳票 04.消費税 05.決算 06.分析 07.設定 08.部門 09.原簿管理 0B.転送 0C.英語メニュー 0D.連絡 0E.保守

保守メニュー

11 繰越処理
21 バックアップ
22 自動バックアップ設定
28 リストア
31 各マスターの再生
33 仕訳消費税コード自動変換
34 入力済仕訳データ項目変換
51 科目体系表

PC移行 (パソコンの入れ替え)

91 入力環境設定の書き出し (旧PC)
92 入力環境設定の取込 (新PC)

業務メニュー 入力済仕訳データ項目変換

実行(F10) キャンセル(Esc) 変換項目設定(F9) 摘要呼出(F8) ヘルプ(F1)

対象となる仕訳の実換前の項目と一致する仕訳が、実換後の項目に一括で置き換えられます。使用にあたっては、十分に注意して項目を設定してください。また、変換項目を指定する場合は、実換前と実換後の値は必ずセットで入力してください。

実換対象

日付範囲: [] ~ []

実換項目設定

確定(F10) キャンセル(Esc) ヘルプ(F1)

実換項目選択

取引月度 任意項目 1
 勘定科目 任意項目 2
 補助科目 期日
 部門 伝票付箋
 工事 行付箋
 消費税区分 摘要
 消費税率 摘要区分
 業種区分

摘要欄にカーソルがあるとき[摘要呼出]ボタンが押せ、固定語句の参照窓が表示されます。
[F1] ~ [F11]、[S] + [F1] ~ [S] + [F10] で分類を選択してから、摘要を選択してください。

※「摘要コード/呼出コード」に全角文字を入力した場合は、半角文字に変換されます。漢字等の変換できない文字はカットされます。

【変換項目設定】を選択すると、変換内容欄の項目の表示有無を設定できます。

※設定可能な項目はご使用の財務システムと会社基本情報等の設定により異なります。

変換対象とする仕訳の絞り込み条件を設定します。必要な項目のみ設定してください。

- ・設定した条件は AND 条件となり、入力した条件をすべて満たす仕訳が対象になります。
- ・すべての項目が未設定の場合は、全仕訳が対象になります。
- ・仕訳の表示順は入力環境設定「会社毎」タブの「仕訳検索表示順序」の設定に従います。

※表示される項目は IKX モードと応援モードで異なります。

▼入力済仕訳データ項目変換 (IKXモードの画面)

業務メニュー 入力済仕訳データ項目変換

実行(F10) キャンセル(Esc) 変換項目設定(F9) 摘要呼出(F8) ヘルプ(F1)

対象となる仕訳の実換前の項目と一致する仕訳が、実換後の項目に一括で置き換えられます。使用にあたっては、十分に注意して項目を設定してください。また、変換項目を指定する場合は、実換前と実換後の値は必ずセットで入力してください。

実換対象

日付範囲: [] ~ []

位置No: [] ~ []

検索: [] 含む

伝票種類: 通常 先行 仮伝票

入力形式: 仕訳 入金 出金 摘要 帳簿

実換内容

実換前	実換後
取引月度: []	→ []
勘定科目: []	→ []
補助科目: []	→ []
消費税区分: []	→ []
消費税率: []	→ []
期日: []	→ []
伝票付箋: []	→ []
行付箋: []	→ []
摘要: []	→ []

変換対象とする仕訳の絞り込み条件を設定します。

変換する内容 (変換前と変換後) を設定します。変換前と変換後をセットで設定してください。片方しか設定されていない場合は、エラーになります。

科目のみを変換する場合は、消費税率は変換されません。

伝票付箋/行付箋の設定は、 でマウスを右クリックすると付箋種類の選択窓が表示されます。

【制限事項】

- ◆ 次の仕訳は変換できません。
 - ・削除された仕訳
 - ・決算確定月の仕訳
 - ・仕訳送受信で転送済の仕訳
 - ・自動仕訳（一括税抜仕訳、完成振替仕訳、未成振替仕訳）
 - ・合併仕訳
- ◆ 会社基本情報の電子帳簿設定タブの「証憑をクラウドに保管：する」になっている場合は、「入力済仕訳データ項目一括変換」の処理を行えません。

変換対象とする仕訳の絞り込み条件を設定し[実行]すると、下の確認画面が表示されます。
 ※この状態では、変換処理はまだ完了していません。

▼入力済仕訳データ項目変換 確認画面

仕訳変換を確定する場合は【確定】をクリックします。
 確定すると、元の状態に戻すことはできません。

変換前の状態に戻したい場合は【復旧】をクリックします。

【結果リスト】をクリックすると、「仕訳一括変換結果リスト」が表示され、変換された仕訳だけを確認できます。

変換数（変換した仕訳数／検索条件に一致する仕訳数）が表示されます。

変換前の仕訳に「O」がついています。

▼仕訳一括変換結果リスト

付日付	仕票No.	摘要	借方	借方消税	貸方	貸方消税	金額
7/ 4. 2. 1	1		100現金		810商品売上高増△10		10,000
7/ 4. 2. 1	1		114普通預金		810商品売上高増△10		10,000
7/ 4. 2. 1	2		100現金		810商品売上高増△10		10,000
7/ 4. 2. 1	2		114普通預金		810商品売上高増△10		10,000

4. 消費税 令和4年税制改正の対応

対象システム：IKX財務会計R4／財務顧問R4 Professional／Basic／財務応援R4 Premium／Lite+／工事台帳

消費税の令和4年税制改正に伴う新様式に対応します。※入力や計算式等の変更はありません。

■消費税申告書（一般課税・簡易課税）第一表の右上部「翌年以降送付不要」欄を削除します。

▼消費税申告書 第一表

【変更前】

【変更後】

■課税期間が令和4年4月1日以後終了の場合は、消費税申告書（一般課税・簡易課税）第二表の「改正法附則による税額の特例計算」の53「小売等軽減売上割合」欄は印字されません。

▼消費税申告書 第二表

【変更前】

課税標準額等の内訳書

納税地	（電帳簿等）
（フリガナ）	
法人名	
（フリガナ）	
代表者氏名	
又は氏名	

改正法附則による税額の特例計算	
軽減売上割合(10営業日)	割合38.0%
小売等軽減売上割合	割合38.0%



【変更後】

課税標準額等の内訳書

納税地	（電帳簿等）
（フリガナ）	
法人名	
（フリガナ）	
代表者氏名	
又は氏名	

改正法附則による税額の特例計算	
軽減売上割合(10営業日)	割合38.0%
小売等軽減売上割合	割合38.0%

削除

課税期間：令和4年3月31日以前終了の場合

課税期間：令和4年4月1日以後終了の場合

5. 電子帳簿保存法対応(2次版)について

本バージョンは、財務 R4 の電子帳簿保存法対応の2次版にあたります。

新機能「証憑クラウド保管」により、以下の電子帳簿保存法 区分2、3へ対応します。（保存要件は次ページの表を参照ください）。

- 【電帳法 区分2】 スキャナ保存（紙で受領・作成した書類を画像データで保存）
- 【電帳法 区分3】 電子取引に係るデータ保存（電子的に授受した取引情報をデータで保存）
- ※【電帳法 区分1】 電子帳簿等保存 ← 財務 R4 の初版リリースから対応済みです

本バージョンでの電子帳簿保存法対応と今後の予定について

- 本バージョンの証憑クラウド保管は、「データ共有」または「クラウド保管」をしている会社データで利用できます。
- 証憑クラウド保管に加え、今後さらに機能を拡充させ、有償サービス化を予定しております。機能拡充する内容については2022年中にご案内いたします。
- 有償サービス化後に証憑クラウド保管の利用を継続されない場合も、有償化前に保管された証憑データと変更履歴を確認できる手段をご用意します。

対象システム

「データ共有」または「クラウド保管」の利用を前提に、証憑クラウド保管は財務R4シリーズの全システムでご利用いただけます。

※ [会社基本情報変更] → [運用情報] タブにある「データ共有/クラウド保管」が「する」になっている会社データ利用できます。

データ共有	
データ共有/クラウド保管	<input checked="" type="radio"/> する <input type="radio"/> しない

※「データ共有」により、会計事務所と顧問先で、証憑データとクラウド上の履歴情報を共有することができます。

※クラウド保管は、Weplat 財務応援R4の特典機能です。共有先がない場合は、クラウド保管の利用が前提となります。

- ◆ 「証憑クラウド保管」の利用にあたり制限事項がございます。制限事項は「5-7. 制限事項」をご覧ください。

電帳法対応1次版 (Ver.21.4) の証憑のローカル保存の利用継続について

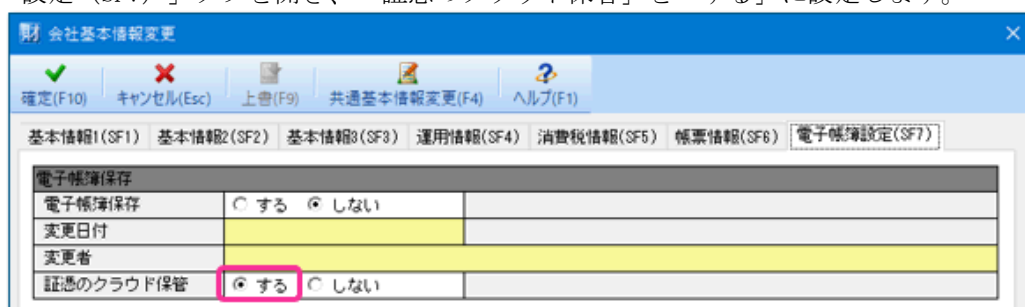
区分3の電子取引に係るデータ保存について、「証憑クラウド保管」を利用せずに、ローカルに保存している電子取引データファイルと仕訳・伝票とを紐づける方法を継続することもできます。

電帳法の保存要件への対応概要は次のようになります。

システム	電帳法の区分	保存要件への対応	対応概要
1次版 財務R4 Ver.21.40 2022年1月24日 リリース	スキャナ保存 (区分2)	×	—
	電子取引データ 保存 (区分3)	○ *1	財務R4による検索機能の確保 (日付・金額・取引先による検索) *1 改ざん防止のための事務処理規程の備付けと、その規程に沿った運用が必要です。
2次版 財務R4 Ver.22.20 本バージョン	スキャナ保存 (区分2)	○ *2	「証憑クラウド保管」機能により、 <u>クラウド上での証憑の訂正又は削除履歴の確認、および、検索等の要件へ対応します。</u> 「証憑クラウド保管」では、タイムスタンプの付与に代わる方法として、 <u>NTP (Network Time Protocol) サーバーと時刻同期して証憑を保管します。</u>
	電子取引データ 保存 (区分3)	○ *3	・証憑の登録は受領から概ね7営業日が基本になります。最長でも2か月と概ね7営業日以内に登録が必要です。 ・証憑の登録操作は、財務R4の仕訳入力、伝票入力の「証憑」ボタンからクラウドへ登録します。 *2 本システムには証憑のスキャン機能はありません。スキャナー付属ソフト等を利用して、制度要件を満たす解像度、色階調等でスキャンを行いファイル保存してください。 *3 「証憑クラウド保管」へ登録する前の証憑の訂正・削除については、改ざん防止のための事務処理規程の備付けと、その規程に沿った運用が必要です。

5-1. 証憑クラウド保管の利用開始

「証憑クラウド保管」の利用を開始するには、設定メニュー → [会社基本情報変更] で [電子帳簿設定 (SF7)] タブを開き、「証憑のクラウド保管」を「する」に設定します。

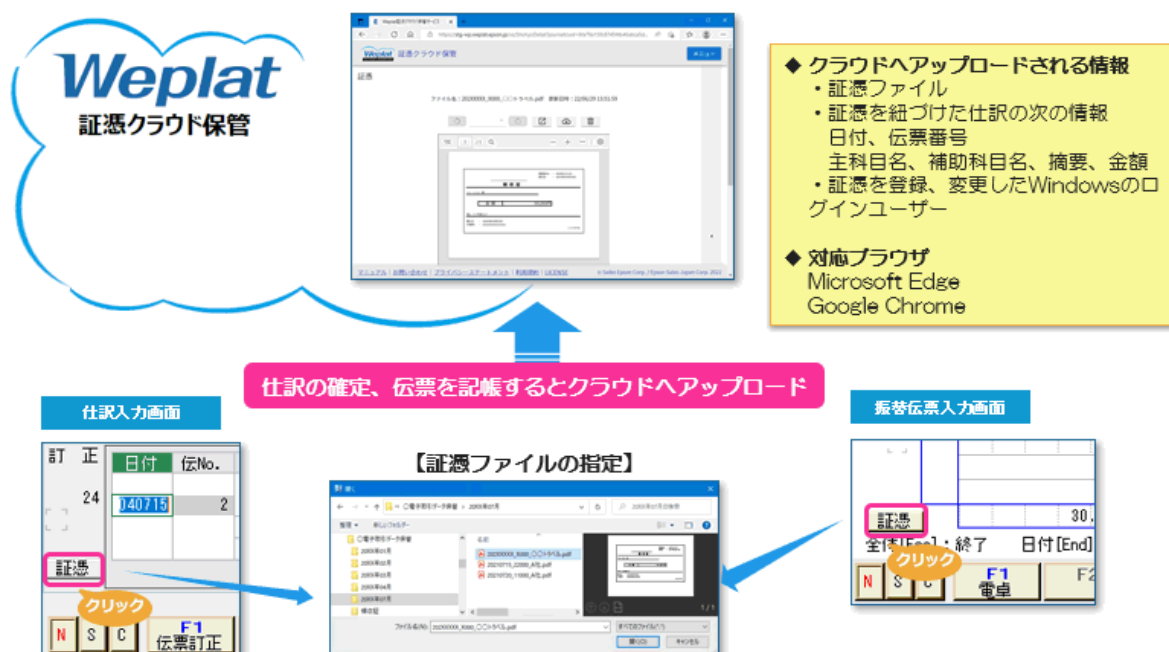


- 「証憑のクラウド保管」を「する」にして運用後に「しない」へ変更することも可能です。「しない」に変更すると、以降はローカルPCへの保管になりますが、クラウドへ保管済みの証憑データは閲覧できます。ただし、クラウドへ保管した証憑の差替えはできませんので、仕訳を削除して再入力してください。証憑データはローカルPCへ保管されます。
- 「証憑クラウド保管」を利用せずに、1次版 (Ver. 21.4) で対応したローカルの電子取引データファイルと仕訳・伝票を紐づける機能を継続する場合には、「証憑クラウド保管」の設定は「しない」のまま利用してください。

5-2. 仕訳・伝票と証憑の紐づけ (アップロード)

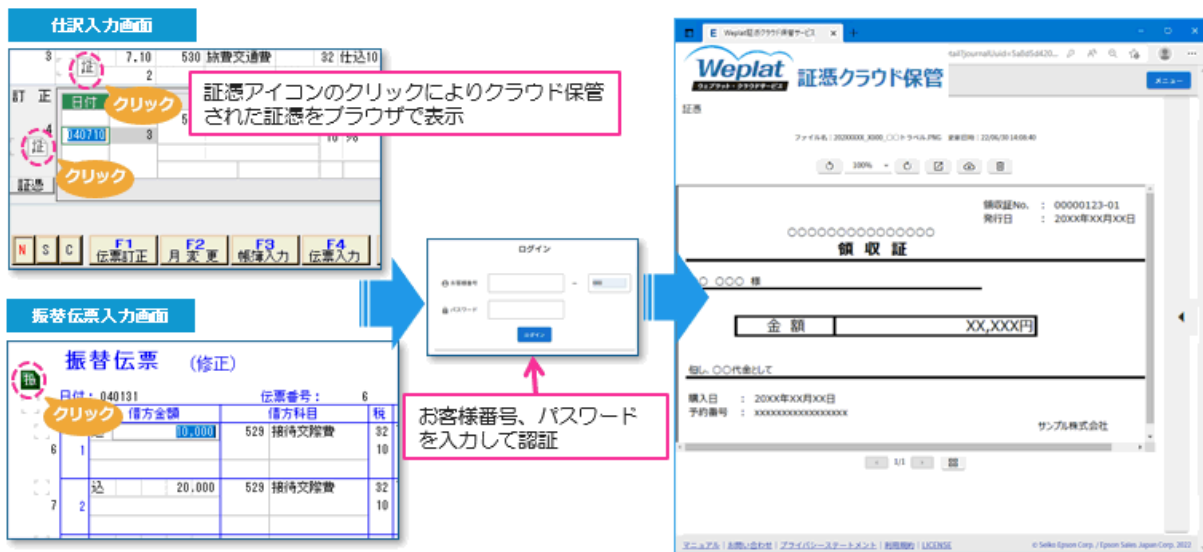
仕訳や伝票と、証憑との紐づけは、財務R4の入力画面の「証憑」ボタンにより行います。(1次版と同様の操作)

仕訳の確定、または、伝票を記帳すると、証憑ファイルと一緒に仕訳や伝票の情報(日付、金額、科目等)がクラウドへアップロードされます。アップロードされた証憑はブラウザで確認できます。



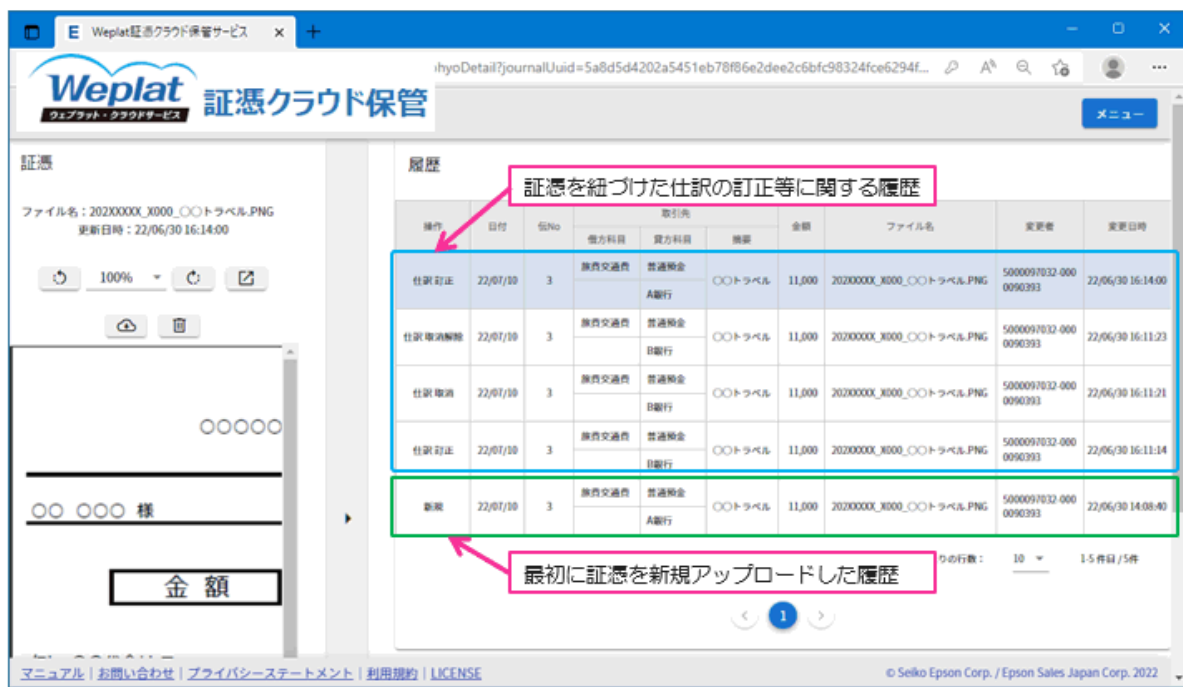
5-3. アップロードした証憑の確認

仕訳や振替伝票に証憑を紐づけた場合、証憑アイコンが付き、証憑が紐づいていることを表します。（1次版と同様）
アイコンをクリックするとクラウドに保管されている証憑がブラウザで表示されます。



5-4. 証憑に関する操作履歴

クラウドには、証憑のアップロードや削除等の履歴に加え、財務R4から証憑を紐づけた仕訳の訂正や取消等を行った場合もその情報がクラウドに送られ、履歴として保管されます。

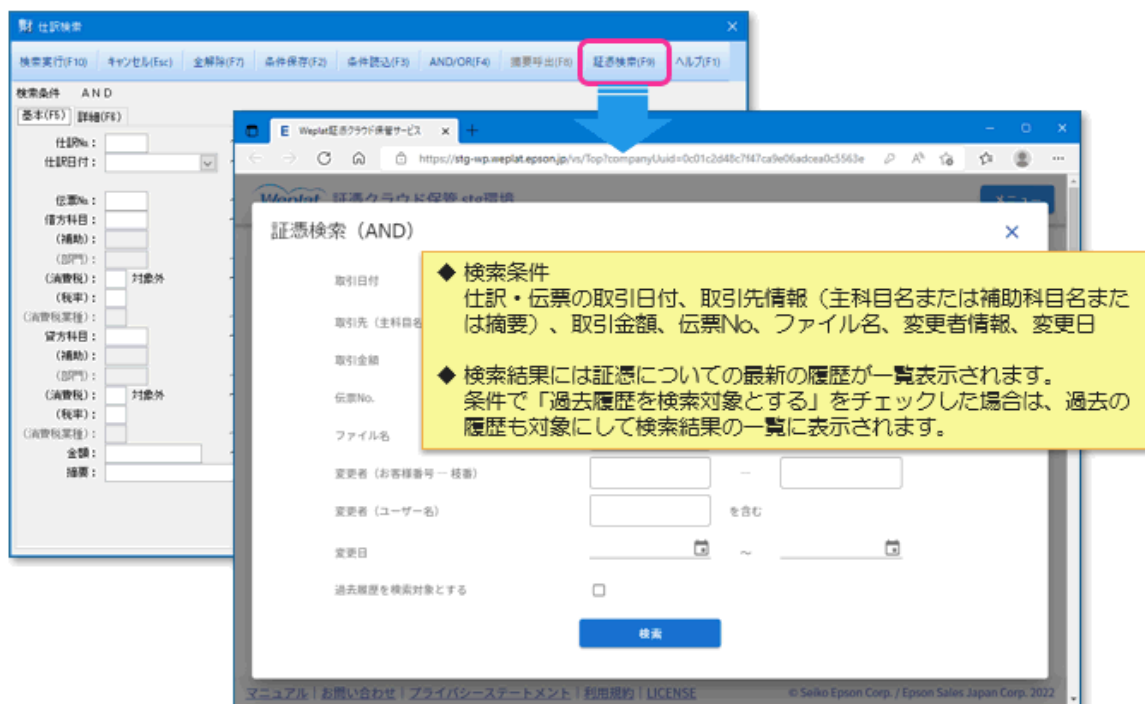


5-5. 証憑の検索

仕訳検索画面、または伝票検索画面から「証憑検索 (F9)」ボタンをクリックすると、クラウドの証憑検索画面が表示されます。

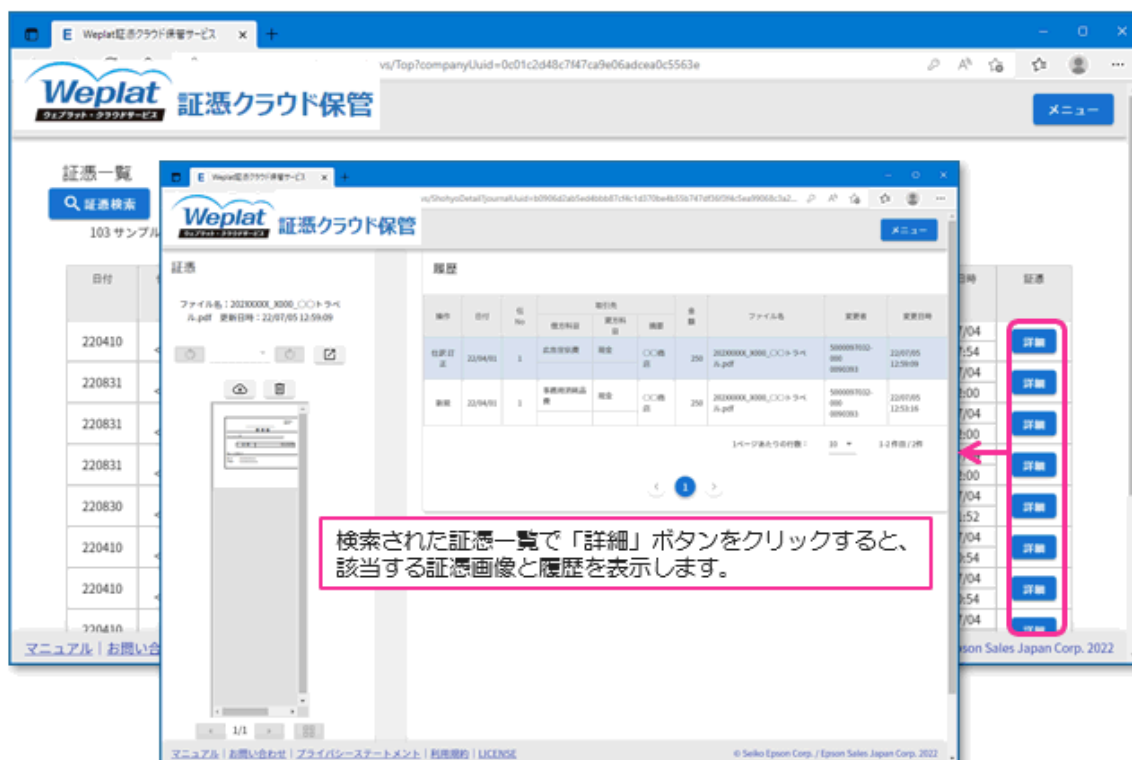
電帳法要件の検索機能の確保 (取引年月日・金額・取引先による検索) に対応しています。

検索の実行によりヒットした、証憑一覧が表示されます。

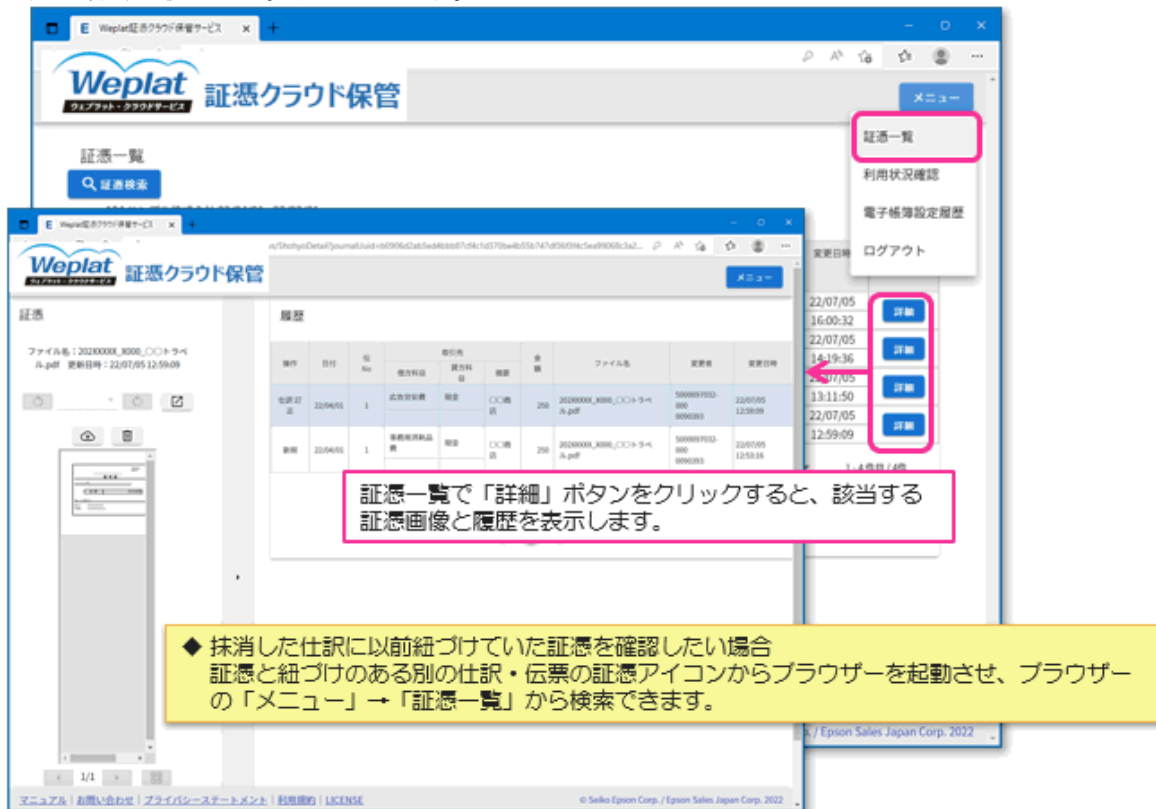


検索を実行すると検索にヒットした、証憑一覧が表示されます。

証憑一覧で「詳細」ボタンをクリックすると、証憑画像と履歴が表示されます。



また、証憑クラウド保管の画面の右上の「メニュー」→「証憑一覧」を選んだ場合にも、証憑検索と同様に最新の履歴が一覧表示されます。



5-6. 電帳法対応1次版（Ver. 21.40）からの改善点

電帳法対応の1次版（Ver. 21.40）から、次の機能改善をしています。

以下の機能改善は、証憑をクラウド保管している場合も、クラウド保管せずローカルデータと紐づけている場合のどちらにも対応しています。

機能	内容
伝票承認	<p>[入力] → [伝票承認] の画面で、承認者が承認時に証憑を確認できるようになりました。</p> <p>証憑が紐づいている場合は、「証」マークが表示されますが、本バージョンから「証」マークをクリックすると紐づいている証憑を表示します。</p> <p>対象システム: IKX財務会計/財務応援R4 Premium</p>
仕訳履歴	<p>仕訳履歴から仕訳に紐づいている証憑データを確認できるようになりました。</p> <p>仕訳履歴で、確認したい仕訳を反転表示してからマウスを右クリックします。右クリックの「証憑」メニューを選択すると、紐づいている証憑を表示します。</p>

5-7. 制限事項

証憑クラウド保管の利用は、クラウド上のデータとの整合性を保つために、以下の制限事項があります。

(1)	「データ共有」または「クラウド保管」による利用が前提のため、「会社送受信」、「仕訳送受信」、「会社送り出し・受け取り」、「バックアップ・リストア」による相手先との会社データの受け渡しは利用できません。
(2)	「仕訳検索」後の「F2 仕訳変換」「F6 一括取消」は利用できません。ファンクションキーは無効になります。
(3)	Ver.22.2の新機能「保守」メニュー →「仕訳データ項目一括変換」は利用できません。メニューは非表示になります。
(4)	「仕訳一括削除」は利用できません。メニューは非表示になります。 ※仕訳を完全に削除されたい場合は、【入力環境設定】→【会社毎】の「伝票取消の操作」で「仕訳を完全に削除する」を選択してください。
(5)	「保守」タブの「各マスターの再生」にある「オプション(F5)」は利用できません。ボタンが非表示になります。
(6)	「会社複写(繰越不可)」、「会社コピー」は利用できません。会社データ選択画面で証憑クラウド保管を利用している会社を選択している場合、メニューは無効になります。
(7)	「会計期間の変更」は利用できません。メニューは非表示になります。
(8)	翌3カ月の仕訳・伝票への、証憑の紐づけはお控えください。 証憑を紐づけされる場合は、翌3カ月を利用せず、繰越処理を行った翌期データへ、仕訳入力と証憑の紐づけをお願いします。 ※翌3カ月の仕訳・伝票へ証憑の紐づけを行い、繰り越し後の翌期データで紐づけのある仕訳・伝票を訂正した場合、証憑クラウド保管の訂正履歴が重複して登録されます。(重複の状態は同一の伝票番号に枝番が増えて登録されます) 【現象発生時の回避方法】 繰越前の前期の会社データで、翌3カ月に入力した該当の仕訳を取消仕訳にするか、または削除してください。 この操作により、証憑クラウド保管の履歴に重複登録された片側が取消の状態(赤文字、取消線付き)になります。
(9)	◆インターネット接続環境の制限 インターネットへの接続にプロキシサーバーを使用する場合、ユーザー名とパスワードの認証が必要なプロキシサーバーでは証憑クラウド保管を利用できません。

5-8. 電帳法への対応予定(2021年11月のお知らせ)からの変更内容

2021年11月にお知らせしました [21XA055 財務R4 電子帳簿保存法の改正\(令和4年1月1日施行\)に関する今後の対応予定のお知らせ](#) からの変更内容をご案内します。

(1)	証憑クラウド保管を別途有償サービスで提供予定とご案内しましたが、本バージョンでは基本機能としてご利用いただけます。今後は「証憑クラウド保管」に加えさらに機能を拡充させ、有償サービス化を予定しております。
(2)	仕訳と証憑ファイルを紐づけた一括取り込みの機能は本バージョンにはございません。今後のバージョンアップで検討いたします。
(3)	1次版でローカルに保存した電子取引データをクラウドへアップロードする機能は本バージョンにはございません。ご提供時期は8月中旬に発行予定のリリースインフォメーションでご案内します。
(4)	本バージョンではスキャナ保存(区分2)に対応しますが、「Weplat スキャンサービス」によるスキャナ保存(区分2)への対応は本バージョンにはございません。今後のバージョンアップで検討いたします。 また、「取込仕訳チェック」等の入力画面から、スキャンボタンにより直接スキャンできる機能への対応はなくなりました。こちらについては今後も対応予定はありません。

6. Weplat 監査支援サービス Ver.1.10を同時リリース

対象システム： IKX財務会計R4／財務顧問 R4 Professional

Weplat 監査支援サービス Ver. 1. 10を同時リリースします。

本バージョン、財務R4 Ver. 22. 20をセットアップすると、Weplat 監査支援サービス Ver. 1. 10の体験版をお試し頂けます。（Ver. 1. 00を体験利用済みで、Ver. 1. 00の体験期間が終了しているお客様も、本バージョンVer. 1. 10を60日間体験利用できます。）

Weplat 監査支援サービス Ver. 1. 10の予定インフォメーションは、「22XA024 Weplat監査支援サービス（Ver. 1. 10）の予定」をご覧ください。

「Weplat 監査支援サービス」とは

会計事務所向け製品である「IKX財務会計 R4」、「財務顧問 R4 Professional」と連動する追加オプションサービスです。

これまで人が行ってきた仕訳や残高のチェック業務を、システムでルール化することにより、異常な仕訳や残高がないかシステムがチェックします。

効率良いミスの発見とチェック業務の標準化を目指した、会計業務を支援するサービスです。

7. 障害対応について

財務R4 22. 20の障害対応情報は、8月中旬に発行予定のリリースインフォメーションにおいてご案内します。

スマレジ連携（Excelマクロ形式） Ver. 1. 12では次の障害に対応します。

No	処理名	対応内容
1	スマレジ売上データ取込	「スマレジ売上データ取込」の実行で、スマレジのデータ件数が多い場合に店舗シートに軽減税率8%の項目列が作成されない障害に対応しました。 本障害は、スマレジに4店舗以上登録されていて、スマレジの売上データ件数が多く、データ取得が複数回行われる場合に発生します。

以上、よろしくお願いいたします。